

# 井原市立 井原市民病院

所在地 〒715-0019 岡山県井原市井原町 1186  
 代表 (0866) 62-1133  
 FAX 62-1275  
 編集責任者 高山二郎  
 診療科目 内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科



新しい作業療法室は一〇七・九五m<sup>2</sup>の広さがあり、藤岡晃、



藤井俊宏  
(文責リハビリテーション科医長)

新しい作業療法室は一〇七・九五m<sup>2</sup>の広さがあり、藤岡晃、

実用的な日常生活における諸活動の実現を目的として行われるもので、市民病院は、8月1日よりこの3本柱がそろうことになります。

新しい理学療法室は、三〇一・四六m<sup>2</sup>の広さがあり、中島均、佐藤恭子、山本久子、山下賢一、藤原麻美の5名が担当します。8月からは楠間基祥が加わりました。間接照明をとりいれた癒し空間であり、音楽療法にも対応できる予定です。

言語療法室は四一・一二m<sup>2</sup>の広さがあり、吉角厚子が担当します。待ち望んでいた喫下造影の設備が整う予定です。また設備面だけでなく、私たちスタッフはより質の高いリハ医療を目指し、勉強会や学会発表を通じて各自日々努力をしています。まだまだリハビリテーション科は発展途上であり、至らない点が多くあると思いますが、「わしがやらねばだれがやる」の気持ちでプラスの医学を実践していきたいと思っています。

リハビリテーション部門の充実は事業管理者大田浩右先生をはじめ、病院関係者のご尽力によるもので、この場を借りて心より感謝いたします。

## SE職員紹介



自宅：倉敷市川入（チボリ公園のすぐ近所）  
趣味：旅行、山登り、映画・ミュージカル鑑賞、バーレーボール等

今一番ほしいもの：旅行に行くための時間  
去年いった場所でよかった場所：北海道・礼文島  
システム関連でご要望・疑問がありましたらぜひ！お気軽にご連絡ください。（内線 8683）



福山健康倉より派遣され、井原市民病院に常駐しています森岡です。  
医事・オーダリングシステムなど、電子カルテ導入に向けての作業の他、井原市民病院の情報システムの管理全般をお手伝いさせて頂くことになりました。7月中旬より2階の電子カルテ開発室（元家族控室）をベースに、現在の電子化状況の調査から手をつけ始めたばかりのためまだお伺いしていない部署も多いと思いますが、その際には宜しくお願ひ致します。電子カルテやオーダリングに関係すること以外にも、パソコンの調子が悪い等、PC関連で疑問・不自由な点がありましたらお声掛けください。

## 患者様へのお知らせ

## お知らせ

### ①土曜日診療について

9月1日より土曜日の外来診療を全科休診とさせていただきます。患者様にはご不便をお掛けいたしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

### ②院内売店について

8月2日より“院内ショップとまと”と名前も新たに、井原市母子寡婦福祉連合会の皆様によります院内売店がオープンいたしました。様々な企画をされているようですが、益々のごひいきよろしくお願ひいたします。

### 職員へのお知らせ

二期工事竣工を記念して、8月11日（月）18時より新館三階「理学療法室」においてDUO三木夫妻をお迎えしコンサートが開催されます。対象は病院職員となります。職員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

近年数々の病院施設等でもボランティア活動を見受けられるようになりましたが、活動の成功や継続性などは、ボランティアさんの努力はもちろんのこと、受け入れる側とのより良い関係づくりが大変重要な要素であるようです。細く長く活動していただけるように職員もその活動を見守り、また時には熱い論議を交わすことでお互いにとって有意義な活動となるよう努力しま

た。近年数々の病院施設等でもボランティア活動を見受けられるようになりましたが、活動の成功や継続性などは、ボランティアさんの努力はもちろんのこと、受け入れる側とのより良い関係づくりが大変重要な要素であるようです。細く長く活動していただけるように職員もその活動を見守り、また時には熱い論



西岡清隆が担当します。様々な日常生活用品や趣味活動用品を取り揃え生活の快適さ・楽しさと共に追求していきたく思っています。

## リハビリテーションの充実

リハビリテーション科は、仮設という患者様にとっても職員にとても狭苦しい混雑した環境から、7月19日に開放感のある癒し空間へ移動しました。リハビリテーション（以下、リハ）という言葉は一般的になりましたが、間違った意味で使われることもあるようです。リハ医療とは、基本的動作能力の回復等を中心とした理学療法、応用的動作能力や社会的適応能力の回復等を目的とした作業療法、言語聴覚能力の回復等を目的とした言語聴覚療法等の治療法により構成され、いずれも実用的な日常生活における諸活動の実現を目的として行われるもので、市民病院は、8月1日よりこの3本柱がそろうことになります。

言語療法室は四一・一二m<sup>2</sup>の広さがあり、吉角厚子が担当します。待ち望んでいた喫下造影の設備が整う予定です。

また設備面だけでなく、私たちスタッフはより質の高いリハ医療を目指し、勉強会や学会発表を通じて各自日々努力をしています。まだまだ

まだ動作の練習を行います。また趣味余暇的活動を用いて生活上の活力となる“楽しみ”と共に追求いたします。

## 作業療法のご案内

はじめまして。先ほど藤井先生よりご紹介いただきましたが、この8月よりリハビリテーション科内に作業療法部門が新たに加わります。

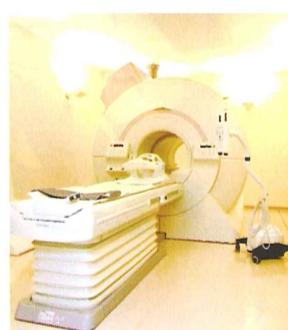
作業療法では、脳卒中や整形疾患、老年期障害等の患者様に快適な日常生活を送っていただけるようにそれらに必要な動作の練習を行います。

また趣向余暇的活動を用いて生活上の活力となる“楽し

み”と共に追求いたします。

よろしくお願ひいたします。

## 新機種紹介 1.5T MRI



病院新築に伴い、各種検査機器の更新等も行われております。随時特集を組んで皆様にご案内いたしたいと思います。まずは、6月30日より稼動いたしました、1.5T MRI装置からご紹介いたします。

今回導入された機器は東芝社製高磁場（1.5T）MRIであります。世界一静かなMR I機器として賞賛されているPianissimo機構を備えています。数々MRI検査を経験された患者様にはその違いを実感いただけだと思います。（とはいえ、検査中のコンコンと言う音はしますよ。音の大きさが1/10に削減されたそうです。）

機能面では、Speeder等の新しい機能で検査時間の短縮（従来の1/3）が可能になりました。高画質の画像を提供することができ有用な診断結果が得られることでしょう。

## MR I 検査を受けられる患者様への注意事項

MR Iは機械全体が大きな磁石になっています。検査を受けていただく際には、全身の金属（入れ歯、ヘアーピン、めがね、カイロ等々）を必ずはずしていただきます。当院では検査の安全性確保のため、検査部位にかかわらず検査衣への全身更衣を推奨しています。ご面倒ですがご協力ください。

また、ペースメーカー、動脈クリップ等の手術をお受けになられた患者様は検査ができません。

御不安な方は主治医とよくご相談いただこうお願いいたします。

## ボランティア研修会

7月22日より新しい外来での診療が開始され、患者様をご案内してくださるボランティアの方々をお見受けするようになりました。やさしく対応されるそのご様子は微笑ましいかぎりです。

## 井原市民病院基本理念

1. 患者の権利を尊重し、情報提供によって患者が納得出来る医療を行い、地域住民に信頼される病院を目指します
2. 医学の進歩に相応した高いレベルのしかも安全管理が行き届いた医療が行えるよう、日々研鑽に励みます
3. 地域医療体系の一環として相互の連携を密にし、機能分担を考慮した効率的な医療を提供します
4. 医療を受ける側の身になって考え、温かい心の手を差し伸べることを忘れません

## 井原市民病院職員の誓い

1. 私たちは、市民の生命（いのち）と健康を守り、心のこもった診療をいたします。
2. 私たちは、質の高い医療を目指し、日々研鑽いたします。
3. 私たちは、病める人の身になって考え、最善の理解者となるよう努力いたします。

# 施設案内図

